

## 『北斎と広重—風景画の二大巨匠—』



葛飾北斎  
「富嶽三十六景 凱風快晴」

大判錦絵揃物の内  
川崎・砂子の里資料館蔵

平成 13 年に開館した中山道広重美術館は、9 月下旬に開館 5 周年を迎えます。当館では、これを記念する特別企画展として「北斎と広重—風景画の二大巨匠—」展を開催します。

周知のとおり、葛飾北斎と歌川広重は、浮世絵を代表する巨匠であり、また彼らの描いた作品によって、浮世絵版画に「風景画（名所絵）」というジャンルが確立したこともよく知られた事実です。しかしながらその個性は大きく違い、それぞれの絵師、とりわけ広重は個性の違いを意識して作品制作を行っていたことが、現存資料から判明します。

今回の特別展では、両者の代表作を展示し、その画風の違いを楽しんでいただきたいと思います。なお当館では初めての葛飾北斎作品の展観となり、かつ東海地方において北斎作品が大規模に展観されるのも、ほぼ 10 年ぶりとなります。この機会にぜひご来館ください。

会期: 9 月 5 日(火) ~ 12 月 3 日(日)

第 1 期: 9 月 5 日(火) ~ 10 月 1 日(日)

毎週月曜日休館(9 月 18 日(月)は開館)

9 月 1 日(金) ~ 4 日(月)まで展示替え休館します。

次号は 9 月 15 日号

発行日は 9 月 15 日(金)です

広報えな No.43

2006 年(平成 18 年)9 月 1 日発行

発行 恵那市役所

編集 まちづくり推進課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家 1 丁目 1 番地 1

☎ 26-2111 / ☎ 25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉ [info@city.ena.gifu.jp](mailto:info@city.ena.gifu.jp)

編集後記

8 月はチャリンコ列車の様子を見てきました。明知鉄道に自転車積み込み、最寄りの駅から出発。市内の景観を眺めながら、全身に風を受けて爽快に走る魅力あるイベントでした。

さてその自転車ですが、誕生したのは今から 190 年ほど前になるそうです。最初はペダルがなく、足で踏んで進むもので、乗り心地も決して良くはなかったそうです。しかし改良が繰り返され、今では驚くほど利便性が向上しました。スポーツや買い物、通勤通学と用途に合ったいろいろな形状があり選ぶ楽しみもあります。

これからの季節、地球環境にもやさしい自転車で、いつもとは違う景色を楽しむに出掛けてみませんか。